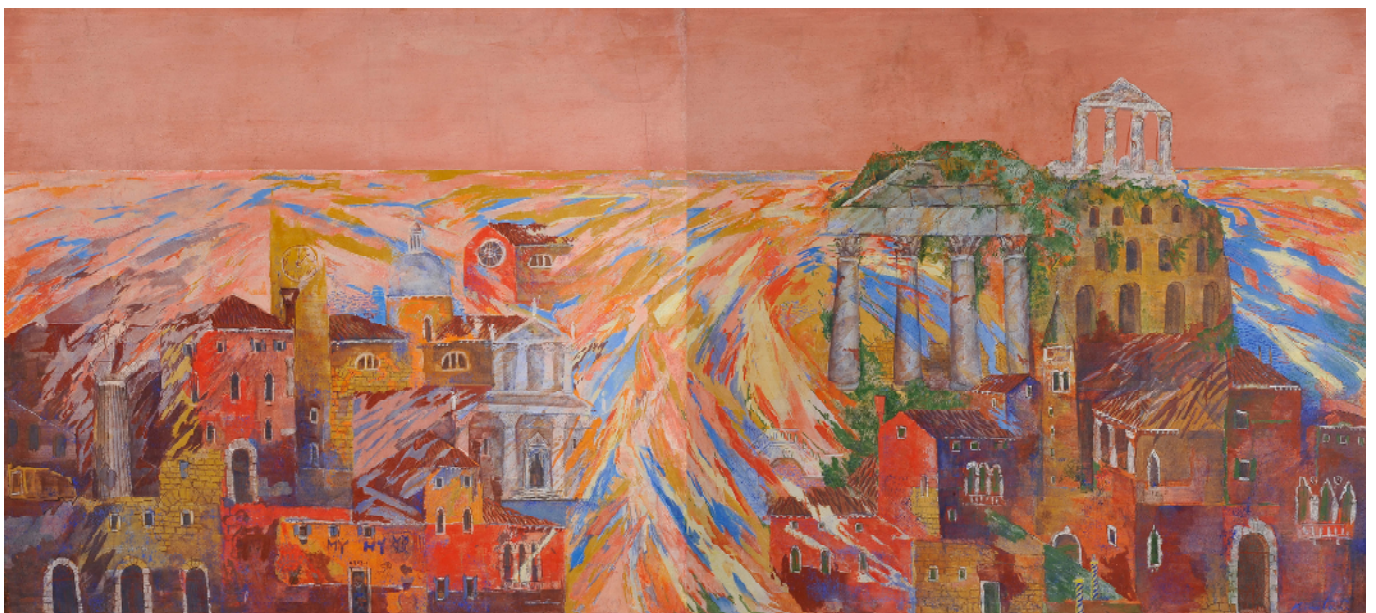


特別展示「アフレスコの傑作『光ふる街』初公開」 「絹谷幸二 天空美術館」にて開催

積水ハウス株式会社が設立・運営する「絹谷幸二 天空美術館」（梅田スカイビル・タワーウエスト27階）では、8月16日（水）から11月27日（月）まで、特別展示「アフレスコの傑作『光ふる街』初公開」を開催いたします。これは8月22日（火）から10月15日（日）に開催される京都国立近代美術館の企画展「絹谷幸二～色彩とイメージの旅」の関連企画として開催します。京都国立近代美術館との連携による相乗効果で、絹谷ワールドをさらに広める機会とします。



『光ふる街』 180cm × 394cm 1978年（個人蔵）

アフレスコ画（壁画の古典技法）の第一人者、絹谷幸二氏の初期の代表作『光ふる街』は、1978年に制作されたアフレスコによる風景画で、ヨーロッパの古代建築と煉瓦のまちなみが、透明感溢れる光の帯に包まれたように描かれています。絹谷幸二氏の青年期の瑞々しい息吹を伝える大作として、これまでは書籍等で紹介されてきました。このたび、所蔵先の壁面からストラッポ（剥ぎ取り）され、キャンバスに移し替えられることによって、一般に公開する機会を得ました。また今回の特別展示では、絹谷幸二氏のヴェネツィア・アカデミア時代のアフレスコ画も併せて5作品を展示いたします。

京都国立近代美術館との共同企画として、企画展「絹谷幸二～色彩とイメージの旅」との2館セット券を1900円（通常2400円）で販売いたします（6月22日～10月15日販売）。両美術館をご鑑賞いただき、絹谷ワールドを存分にお楽しみください。

「絹谷幸二 天空美術館」

2016年12月に、世界的に話題の「梅田スカイビル」内にオープンした絹谷幸二氏初の単独美術館。53作品を公開中（6月13日現在）。世界初の絵画の世界に飛び込む大迫力の3D映像や、遊び心満載のワークショップやアトリエスペース、快適空間のカフェなどを併設し、眺望も抜群な美術館。